

警察庁と厚生労働省によると、2025年に自殺した全国の小中高生は532人（暫定値）で前年比3人増と過去最多となりました。若者の自殺はコロナ禍が始まった20年に急増した後、深刻な状況が続いています。

内訳は、小学生が10人、中学

生が170人、高校生が352人。男女別では、男子が255人（前年比16人増）、に対し、女子が277人（同13人減）。

特に高校生や女子中学生で多く、心の健康問題が悪化し自殺に至るケースが増

子どもの自殺をなくそう

えています。そのほか、家庭問題（しつけ・叱責、親子関係不和）、学校問題（学業不振・学友との不和・進路の悩み）、男女問題などが見られます。子どもの自殺防止には、日頃のコミュニケーションが大切で、常に聴く姿勢を持ち、兆し・異変に気がつくようにしましょう。また、自らだけで対処できない場合は、SNSやSOSダイヤルでの相談や居場所の活用を教えるなど、社会全体で自殺をなくしましょう。

防犯一口メモ